

大滝ダム貯水池内における 赤茶褐色の湖面の分析結果

○8月19日、大滝ダム堤体付近の貯水池内で確認された赤茶褐色の湖面の変色について、分析の結果、渦鞭毛藻綱 うずべんもうそうこう ペリジニウム*1であることが特定されました。（別紙1に採水箇所、プランクトン同定試験結果を示します）

○渦鞭毛藻綱 うずべんもうそうこう ペリジニウムは植物プランクトンの一種であり、各地の湖沼や池に広く分布し、冷水期に出現して赤潮を形成することもあります。おおよそ、表層水温が15℃前後の時期より出現しはじめ、24℃以上になると消滅します。毒性やカビ臭の報告はなく、人体に影響はありません。

○本日（平成28年8月24日12時00分現在）においては、変色は消失しています。

*1：原因種は渦鞭毛藻綱 うずべんもうそうこう *Peridinium penardii*でした。

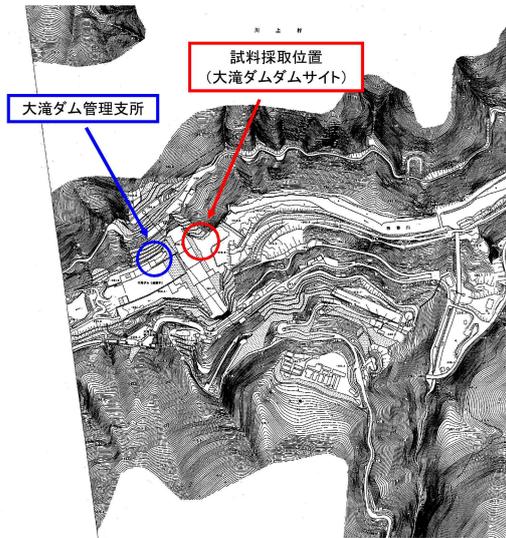
*Peridinium penardii*は、2本の鞭毛で遊泳し、集積して赤潮現象を引き起こすことがある。ただし遊泳力は強くないので、水の流れや風などによって拡散すると、赤潮状態は解消される。細胞の形態は、背腹に扁平な球形ないし卵形である。鎧板（殻）はうすく、表面には小孔や点模様が散在している。



*1：うずべんもうそうこう 渦鞭毛藻綱 ペリジニウム

※ 1目盛=10μm

別紙1
○採水箇所



○採水箇所

大滝ダムサイト付近

○プランクトン同定試験結果

堰名		大滝ダム		調査年(西暦) 2016年	
堰コード					
1 調査コード					
2 調査地点				大滝ダムダムサイト	
3 採水位置				表面水	
4 全水深	m			13.0	
5 調査月					8
6 調査日					20
7 調査開始時刻:時24時間制					10
8 調査開始時刻:分					45
9 天候					晴
10 気温	°C			33.7	
18 採水水深	m			0.1	
20 透視度 (河川)	cm			63	
21 外観					淡赤褐色透
22 臭気 (冷時)					無臭
綱名	科名	種名 (学名)			
クリプト藻	Cryptomonadaceae	CRYPTOPHYCEAE		+	
渦鞭毛藻	Peridiniaceae	<i>Peridinium bipes</i>		++	
		<i>Peridinium sp.</i>		+	
珪藻	Thalassiosiraceae	Thalassiosiraceae		+	
緑藻	Scenedesmaceae	<i>Scenedesmus spp.</i>		+	

凡例 : + 少ない、 ++ 多い、 +++ 非常に多い

○赤茶褐色の湖面変色確認箇所

- ・大滝ダムサイト～大津古
- ・北塩谷橋上流

